

令和3年5月6日 00533号

編集者:佐藤寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

URL <http://www.kitamibudokan.org/>



ニュースレター【事務局情報】野生の営み

④ 冬期間には、釧路湿原で餌が乏しくなる頃に鶴見橋の川など暖かい場所で夜を過ごし昼は伊藤サンクチュアリなどで過ごすサイクルができていることから生態を間近に観察することができる場所として、外国人観光客やカメラ愛好家などが足繁く通っています。また近年では、地元の学生たちによるガイド活動が行われ次世代へ保全活動が継承されています。(堅一) 写真説明:夫婦が誕生した瞬間

小さなお客様!覆面の伊藤慎之甫くん

北見剣心館で剣道を習う伊藤慎之甫(しんのすけ)くんが、剣道連盟の指定の手ぬぐいで作ったと思われるマスクを鼻から口まで小さな暖簾のように垂らして付け、「可愛いでしょ~!!」と声をかけてきてくれました。「おー、可愛いね!!写真撮らせてくれる!!」と言うと、「いいよー」と快諾してくれたので、スマホを持って戻ってみると、こんどは手ぬぐいを頭から



かぶり、覆面状態になっていました。どちらの格好も可愛い伊藤君でした。(佐藤)

武道振興協会事務所の花シリーズ

「巨大ワサビ」

柔道の教え子から巨大ワサビが届きました。あまりに大きいので計測してみると、太さは直径7cm、周囲を巻き尺で測ると21センチありました。届けてくれたのは、教え子の娘さん(看護大学生)。教え子もそうした年齢(51歳)になっていますが、体系だけは不変的(100超級)ワサビも彼に似た巨大さ、味も絶品、春の味覚を堪能しました。持つべきものは善き教え子です。合掌(佐藤)



連載 武道宝鑑全剣道『形』の真髓 東京高等師範学校助教授 佐藤卯吉⑦

既に流派が生じた場合、流派を流派たらしめるものの重要な形式的要素をなすものは所謂『形』と称せらるるものである。言葉を換えて言えば、流派は『形』を基本として統一された刀法と言っても良い。事実剣道記録の古いものを見るに、多くの流派に於いて実地練習は、袋竹刀、木刀、刃引き等を以て行う『形』が殆ど其の全部であった事を発見するのである。

一、 剣道『形』の性質

剣道の『形』の性質に就いては自分の意見を述べるに先き立って、古人は『形』を如何・・・つづく